



2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月14日

上場会社名 株式会社識学 上場取引所 東
 コード番号 7049 URL https://corp.shikigaku.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 広大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進部長 (氏名) 佐々木 大祐 (TEL) 03-6821-7560
 定時株主総会開催予定日 2022年5月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の連結業績(2021年3月1日~2022年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	3,823	52.6	429	115.9	359	161.8	346	74.0	224	—
2021年2月期	2,506	45.7	199	△38.3	137	△51.5	199	△29.3	△41	—

(注) 包括利益 2022年2月期 396百万円(—%) 2021年2月期 0百万円(△99.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	29.06	27.88	13.8	10.7	9.4
2021年2月期	△5.60	—	△4.5	10.0	5.5

(参考) 持分法投資損益 2022年2月期 △21百万円 2021年2月期 △12百万円

- (注) 1. 2021年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、
 潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。
 2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+敷金償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	4,089	2,731	57.8	290.33
2021年2月期	2,392	1,138	37.5	120.05

(参考) 自己資本 2022年2月期 2,363百万円 2021年2月期 897百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	469	△69	982	2,625
2021年2月期	181	△297	315	1,243

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,962	29.8	474	10.4	400	11.3	382	10.4	204	△9.1	24.94

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+敷金償却費

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）識学2号投資事業有限責任組合、除外 1社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	8,196,900株	2021年2月期	7,534,500株
② 期末自己株式数	2022年2月期	55,215株	2021年2月期	59,632株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	7,738,630株	2021年2月期	7,424,400株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年2月期の個別業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	3,319	49.3	506	103.9	640	131.0	283	-
2021年2月期	2,223	29.2	248	△15.4	277	△9.1	△7	-
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期	36.70		35.19					
2021年2月期	△0.94		-					

(注) 1. 2021年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	3,531	2,442	69.2	299.97
2021年2月期	1,889	948	50.2	126.82

(参考) 自己資本 2022年2月期 2,442百万円 2021年2月期 947百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

(売上高)

当事業年度は、マネジメントコンサルティングサービス・プラットフォームサービスの受注状況が新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に概ね戻ってきたこと、講師数が前事業年度より19名増加し73名となったこと及び「識学基本サービス」の拡販に注力した結果、「識学基本サービス」の契約社数は524社(前事業年度末対比+357社)となり、プラットフォームサービスの売上高が増加したことにより、売上高は前期実績値よりも増加しました。

(営業利益)

営業費用については中長期の成長を実現するために、講師の積極的な採用・育成するための採用教育費への投資や積極的なマーケティング活動を実施し広告宣伝費の投資を継続してまいりました。一方で、売上高は前事業年度対比49.3%増となった結果、当事業年度の営業利益は前期実績値よりも増加いたしました。

(経常利益)

識学2号投資事業有限責任組合及び新生識学1号投資事業有限責任組合の組成に伴い、業務受託収入が増加いたしました。また、識学1号投資事業有限責任組合で保有している株式を一部売却したことにより、投資事業組合運用益が増加いたしました。その結果、経常利益は前期実績値よりも増加いたしました。

(当期純利益)

当社連結子会社である株式会社シキラボに関連する関係会社株式評価損25百万円の計上、同社及び福島スポーツエンタテインメント株式会社に対する債権への貸倒引当金44百万円及び関係会社事業損失引当金110百万円を特別損失に計上しましたが、経常利益が前期実績値を大幅に上回ったことにより、当期純利益は前期実績値よりも増加いたしました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料3ページ目「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。